

文部省選定

社会教育映画

企画 (財)日本体育協会
日本スポーツ少年団
製作 (株)桜映画社

スポーツは友だち

〈子供のからだと心を育てるために〉

16ミリ カラー29分 160,000円

■製作意図

日常的に、子供たちが集団でスポーツ活動を行なう場合、プログラム作りは重要なポイントになります。

楽しい活動の中で、スポーツが生活の中に根をおろし、色々なスポーツにチャレンジできる基礎を作り、生涯、スポーツを楽しめる様な子供たちを育ててゆく、地域に合った活動プログラムが今求められています。

この映画では具体的なスポーツ少年団の活動を生き生きと描きながら、少年期の子供たちの身体(からだ)と心の発達を考えた豊かなプログラム作りについて考えてゆこうとするものです。

■対象 青年(勤労青少年、在学青少年、地域青少年リーダー)

成人(社会体育指導者、地域グループ指導者、地域団体リーダー、社会教育指導者、地域住民)

■用途 教育方法(社会教育団体)

■すいせんのことば

文部省初等中等教育局主任教科書調査官 日丸 哲也

この映画を go らんになったら、子供たちのスポーツを改めて見直すことになるでしょう。

スポーツは人間の欲求を充足する心身の活動です。その欲求が満たされるところに、スポーツの楽しさがあります。けれども、子どものスポーツと成人のスポーツは違います。成人の行っているスポーツのルールや方法、練習の仕方などを、子どものスポーツにそのまま用いることはできません。子供のスポーツはその年令や体力、発育発達の段階に適したプログラムで行なわれなければならないのです。また、それとともに子どものために魅力ある楽しい活動であることが大切です。子供たちにはスポーツは技術のトレーニングよりも、まず遊びでなければなりません。遊びは子どもの頃の大きな生活領域だからです。

この映画は、そうした子どものスポーツをいきいきとドキュメンタリーで捉え、「子どもにとってスポーツとは何か」を映像化しています。子どもがスポーツに夢中になっているときの、素晴らしい顔、顔、顔……、スクリーン画面を通して映し出されるその子どもの顔に、まず感動しました。

子どもたちが、そうした喜びを味わえる活動のプログラムとは……指導者の人も、子をもつ親も、学校の先生も、この映画をみてそれを考えていただきたいと願って、ご推薦いたします。

製

作

株式
会社

桜映画社

東京都新宿区西新宿1-22-1
スタンダード・ビル TEL.03(342)5768

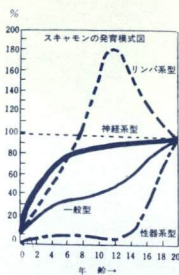
配 給

光スポーツ少年団で元気な日常活動が始まっている。ここでは150名の団員が3つのグループに別れて、野球を中心とした各々特徴ある活動を展開している。

活動が、子供にとって楽しく
また充実したものであるために
は、なんといってもプログラム
づくりがポイントになってくる。

この団体では、子供や家庭の意見をきくために定期的なアンケート調査を行なってきた。そこで得られた意見や要望を、指導者はプログラムづくりに積極的に反映させてゆく。団員の川井君兄弟の家でも、両親がアンケートの回答書きにひと時をすごしている。

指導者は研修会にもでかけて現代の子供達の特性を学ぶ。少年期の発育発達特性の中で、特に神経系型と呼ばれる感覚機能が、10才前後でほぼ大人に近い状態まで発達するといわれる。「素早い反応」「リズムカルな動き」等は、この時期



スキヤモンの発育模式図は、20歳における発育度を100%とした時、この20歳までの発育過程を4つの型で示した図。身体(一般型)に比べ、神経感覚機能(神経系型)は10歳頃にはほぼ大人と同程度まで発達していることがわかる。

を逃がしてはなかなか獲得しにくくなる。昔から子供達が創り出してきた遊びには、自然にその様な動きの発達を促す要素が入っていた。

あるサッカースポーツ少年団では、サッカーではあまり使わない手を使った動き、自発的な動きを取り入れた運動など、子供の幅広い動きを取り入れた活動を実践していた。

光ススポーツ年団では、アンケートの回収が始まった。子供達の運動適性テストも行なわれた。1人1人の団員に関するデータがこうして集められ、年1回のグルーブ編成替えが行なわれた。データとしては、体力や運動能力だけでなく、積極性、行動力、生活態度なども考えられている。

新グループでの活動が始まる。プログラムも、子供の発達特性に基づいたもの、遊びの特徴を生かしたものと、盛り沢山になった。

団地では別の少年団が活動していた。プログラムには芋掘りや親子スポーツ大会も入っている。団地という地域性を考えて、子供により広い生活体験を、という配慮である。

この様に子供の心や身体の特性をふまえ、地域に根ざした多様なプログラムを実践することにより、子供はスポーツの楽しさを身につけ、生涯スポーツを友として明るい生活を送れる大人に成長してゆくことだろう。

■ 利用方法

- 小集団学習——青年、婦人、成人による学級講座の学習計画「子供の運動機能の発育とスポーツ」、「生涯スポーツへの基礎づくり」、「スポーツ少年団を支える家庭の役割り」等の教材。
- 集会学習——社会体育指導者、団体リーダー、町内会青少年部有志の研修会や講演会等に上映して、子供の特性や地域性に根ざした魅力あるプログラムづくりをすすめる、子供の生涯スポーツへの基礎固めに役立てる。
- 不特定多数の映画会——公民館や公共施設における一般映画会に上映して、少年期のスポーツの必要性や、そのためのスポーツ少年団の効用を理解してもらい、関心を高める。

■話し合いの要点

- ①より良いプログラム作りや活動のために指導者が行なった努力は、各々どんな意味を持っていたか。(ミーティング、指導者会議、アンケート、研修会、ゲームの実技指導、運動適性テスト、グループ編成替え会議等)
- ②子供の発達特性はどのようなものか。○なぜ早期に身体を動かす楽しみを知り、運動に親しむ必要があるのか。○それに対し現代の子供のおかれた状況はどうか。
- ③子供の遊びが持つ秀れた機能とはどういうものか。○プログラムに子供の遊びが積極的に利用されるようになった理由は何か。
- ④十条サッカースポーツ少年団の練習は何を意味するか。
- ⑤地域の特(殊)性や家庭のあり方を、スポーツ少年団はどう考え、どうプログラムに反映させているか。
- ⑥クリスマス会の後の表彰式で地味な努力が祝福される意味は何だったか。
- ⑦生涯スポーツの基礎となる子供の頃のスポーツの重要性をもう一度振り返ってみよう。○各自の地域で行われているスポーツ活動を点検してみよう。

音楽をバックに、踊りの要素を取り入れた準備体操で身体をほぐす。



■協力

上尾市教育委員会
上尾市スポーツ少年団
十条サッカースポーツ少年団
千代田区スキースポーツ少年団

■製作スタッフ

製	作	村	山	和	雄
脚	本・演	出	川	田	一
撮	影	堀		澄	男
		相	良	国	康
照	明	石	橋		等
解	説	舩	方	勝	宏

桜スポーツ映画シリーズ

スポーツはぼくらのもの

—新しいスポーツ少年団 カラー25分

ス ポ ー ツ ク ラ ブ

——明るく豊かな生活のために カラー29分

生活の中のスポーツ カラー28分

コミュニティスポーツのすすめ

—スポーツ指導員を中心に カラー23分

いつまでも若く美しく 劇・カラー25分

ス ポ ー ツ の 科 学 カラー19分